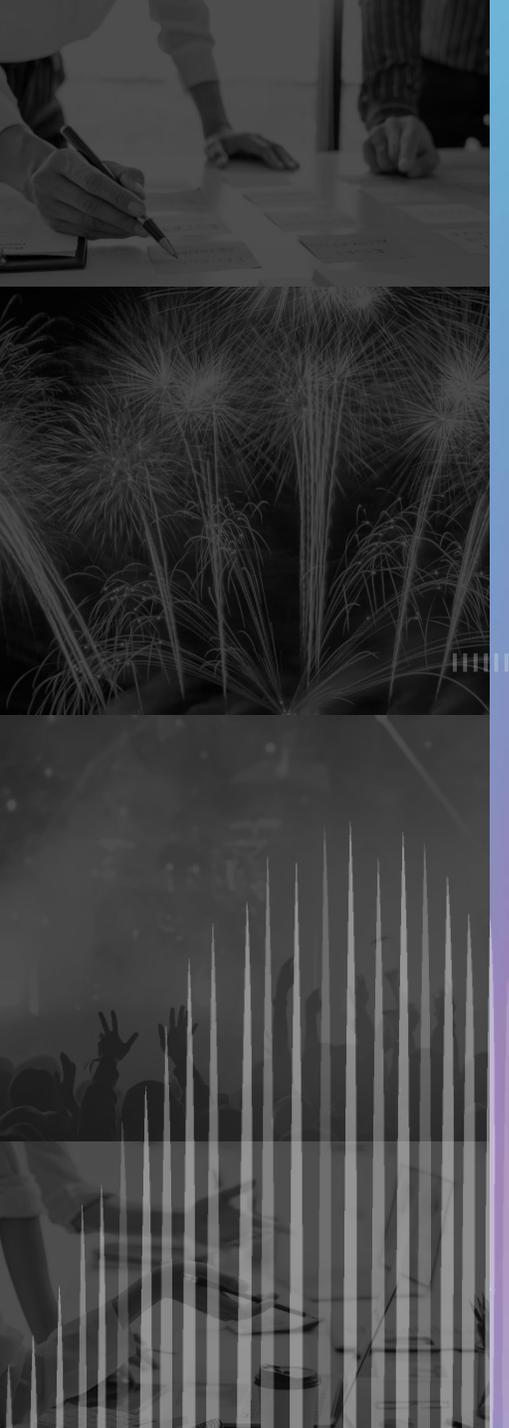


# FRONTIER INTERNATIONAL GROUP

2026年4月期 第3四半期 決算説明資料

株式会社フロンティアインターナショナル

東証グロース〔 7050 〕



# CONTENTS

**01** | 2026年4月期第3四半期業績

**02** | 2026年4月期通期業績予想

**03** | APPENDIX

01

2026年4月期第3四半期業績

## 業績ハイライト

売上高

229億円

前年同期比

+66.5%

営業利益

19億円

前年同期比

+145.5%

経常利益

19億円

前年同期比

+148.6%

四半期純利益

9.9億円

前年同期比

+69.4%

## 2026年4月期 第3四半期累計業績

- 売上高は229.3億円で前年同期比で66.5%増、全ての段階損益で前年同期実績を大幅に上回り、第2四半期までの好調な業績を力強く維持した
- オーガニック3社(株)フロンティアインターナショナル、(株)フロンティアダイレクト、(株)イリアル)で採算性が改善したことに加え、グループシナジーの発現によりグループ全体での事業活動が大きく活性化して、営業利益率も前年同期の5.7%から8.4%まで大きく改善

(百万円)	実績		前年同期比
	2025年4月期 3Q累計	2026年4月期 3Q累計	
売上高	13,776	22,934	+66.5%
売上総利益 (利益率)	2,578 18.7%	4,346 19.0%	+68.6%
販管費	1,796	2,425	+35.1%
営業利益 (利益率)	782 5.7%	1,920 8.4%	+145.5%
経常利益 (利益率)	773 5.6%	1,923 8.4%	+148.6%
当期純利益	585	1,207	+106.3%
非支配株主に帰属する純利益	△ 1	213	
親会社株主に帰属する純利益	586	993	+69.4%

## 四半期別売上高推移

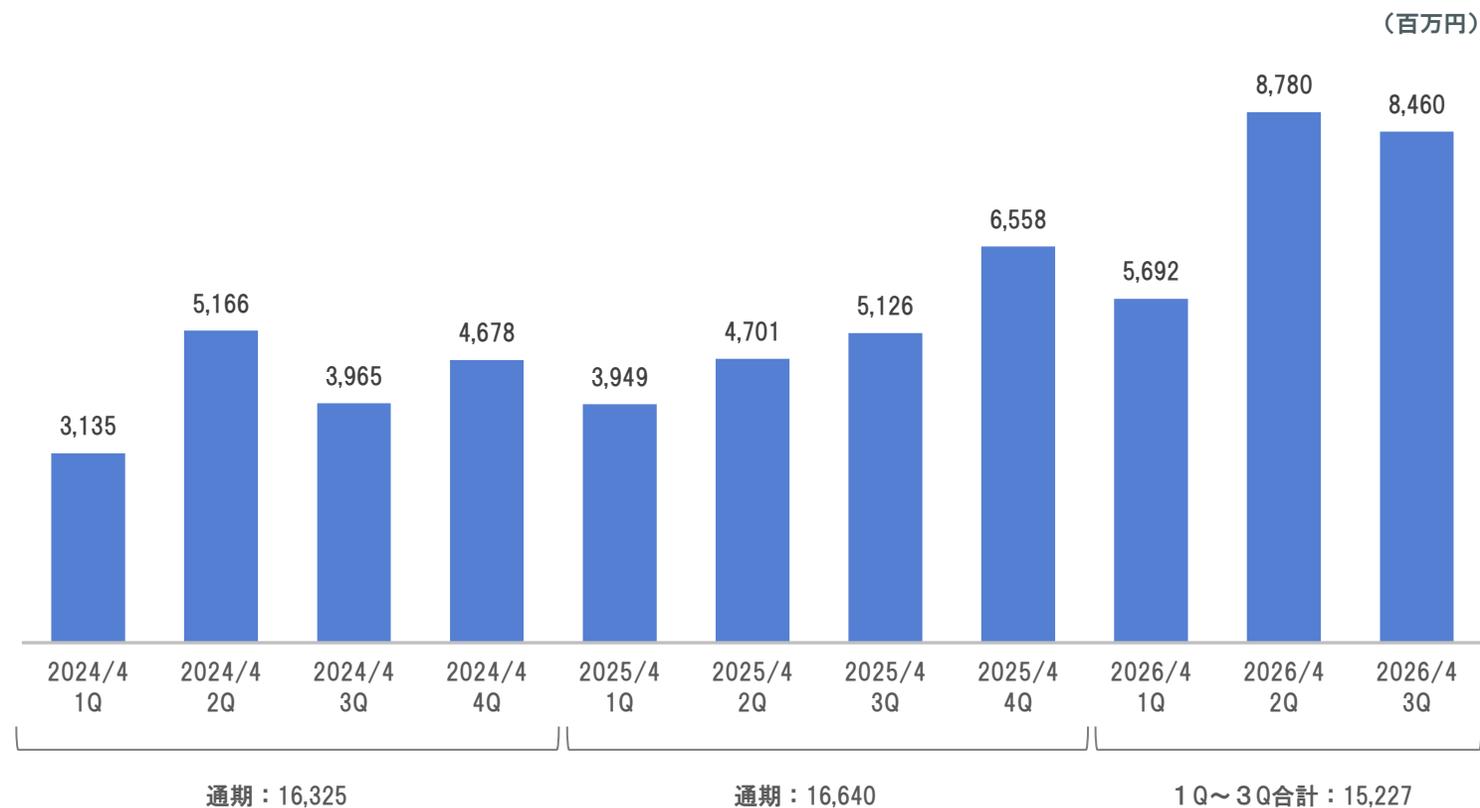
- 当四半期の売上は84.6億円で前年同期比165%と大きく伸ばした
- 当期は当四半期まで、全ての四半期比において過去2期の実績を大きく上回っており、構造的な右肩上がりの成長を確立

当第3四半期売上高

84億円

前年同期比

+65.0%



## 四半期別営業利益推移

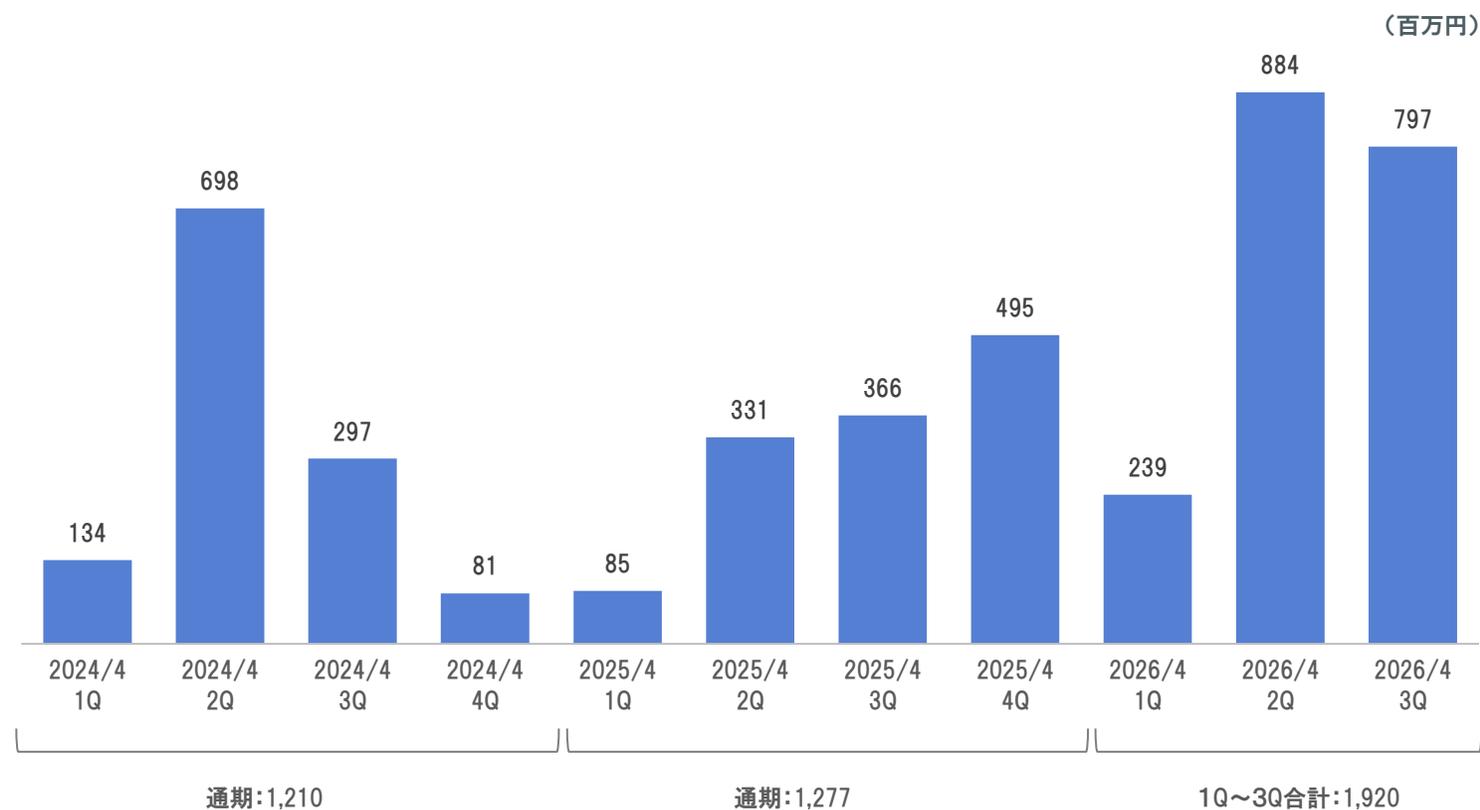
- 当四半期における営業利益は7.9億円で前年同期比218.2%と大きく伸ばした
- 当期は当四半期まで、全ての四半期比において過去2期の実績を大きく上回っており、構造的な右肩上がりの成長を確立

当第3四半期営業利益

7億円

前年同期比

+118.2%



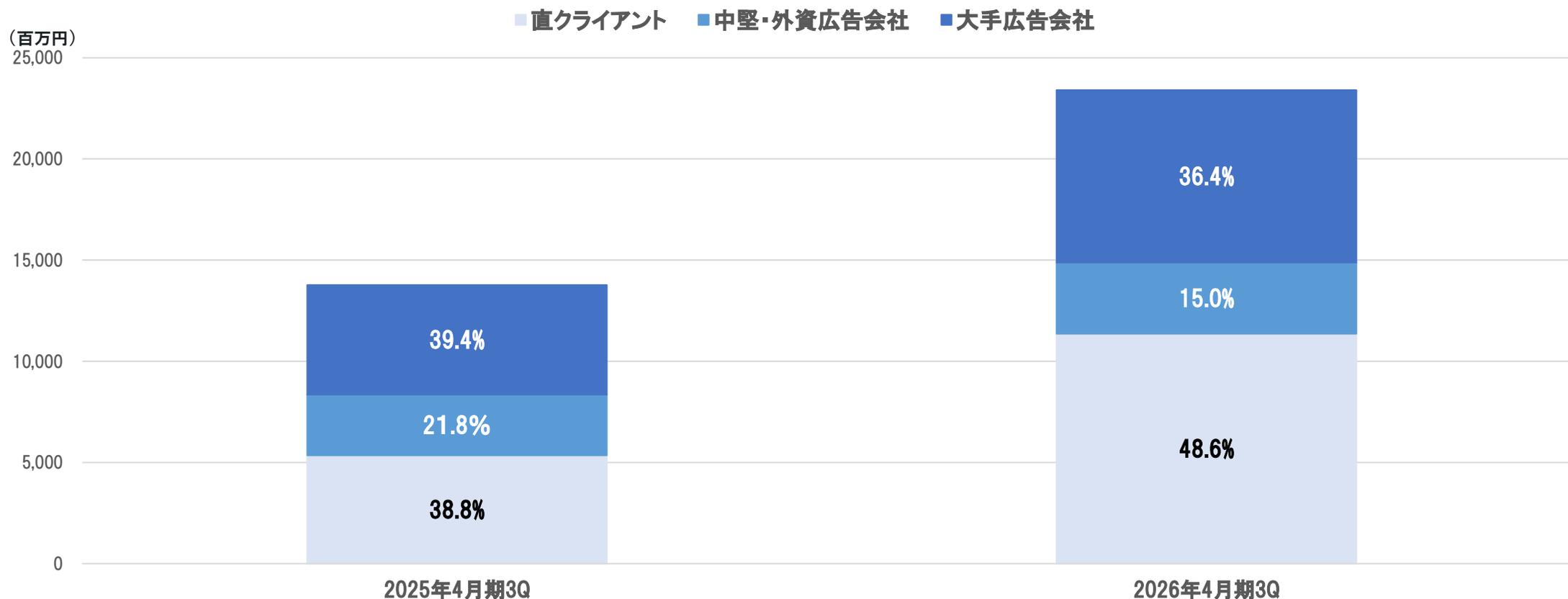
## 業種別売上構成比

- 「スポーツ・ファッション」を中心に、ほぼ全ての業種で前年同期実績を大幅に超過
- 特に、「スポーツ・ファッション」は、当期グループインしたNPU社の影響もあり、世界的ハイブランドのイベント・展示会が大きく伸長
- 「ゲーム・IP」の著名IPのポップアップストア運営、「小売・家電」の大手小売のデジタル広告等の案件が大型化しつつ継続

(百万円)	2025年4期3Q累計		2026年4期3Q累計		増減額	増減率
スポーツ・ファッション	491	3.6%	4,000	17.4%	3,509	715.4%
情報・通信	2,076	15.1%	3,139	13.7%	1,063	51.2%
食品	2,511	18.2%	2,281	9.9%	-229	-9.1%
ゲーム・IP	1,186	8.6%	2,164	9.4%	978	82.4%
小売・家電	1,102	8.0%	1,994	8.7%	892	80.9%
官公庁・団体	1,442	10.5%	1,895	8.3%	453	31.4%
その他団体	1,007	7.3%	1,661	7.2%	654	65.0%
その他	600	4.4%	1,386	6.0%	786	130.9%
嗜好品・化粧品	927	6.7%	1,325	5.8%	397	42.9%
不動産・住宅設備	647	4.7%	972	4.2%	324	50.1%
交通・レジャー	871	6.3%	948	4.1%	76	8.8%
自動車・関連品	336	2.4%	494	2.2%	158	47.1%
金融・保険	457	3.3%	424	1.8%	-33	-7.3%
薬品・医療用品	122	0.9%	251	1.1%	129	105.3%
総計	13,777	100.0%	22,934	100.0%	9,158	66.5%

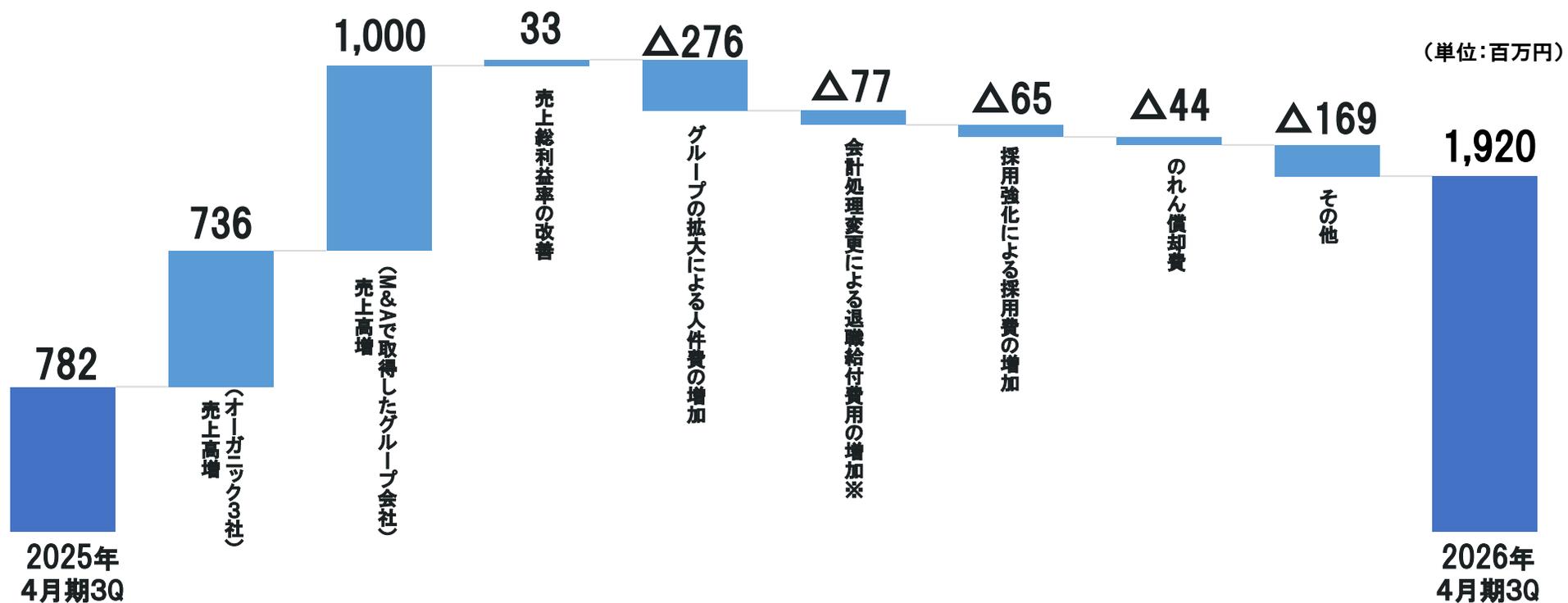
## 受注先別売上構成比

- オーガニック3社(株)フロンティアインターナショナル、(株)フロンティアダイレクト、(株)イリアル) で直クライアント開拓が順調に進行していることに加え、従前より直クライアントを得意先とするグループ会社を中心にクライアント開拓が進展したことで、当社グループが目標としている直クライアント比率50%の水準までほぼ到達



## 営業利益の増減分析

- ロールアップ戦略の着実な進行により、売上高の拡大を通じた営業利益の大幅な改善を実現  
PMIの進行でグループ間の融合がさらに進めば、売上総利益率の大幅な改善も見込める
- 戦略的な人的資本投資を加速して、人件費や採用費を中心に先行投資を実行しつつ、高水準な利益体質を堅持



※ 簡便法から原則法への変更による影響(1Q固有)

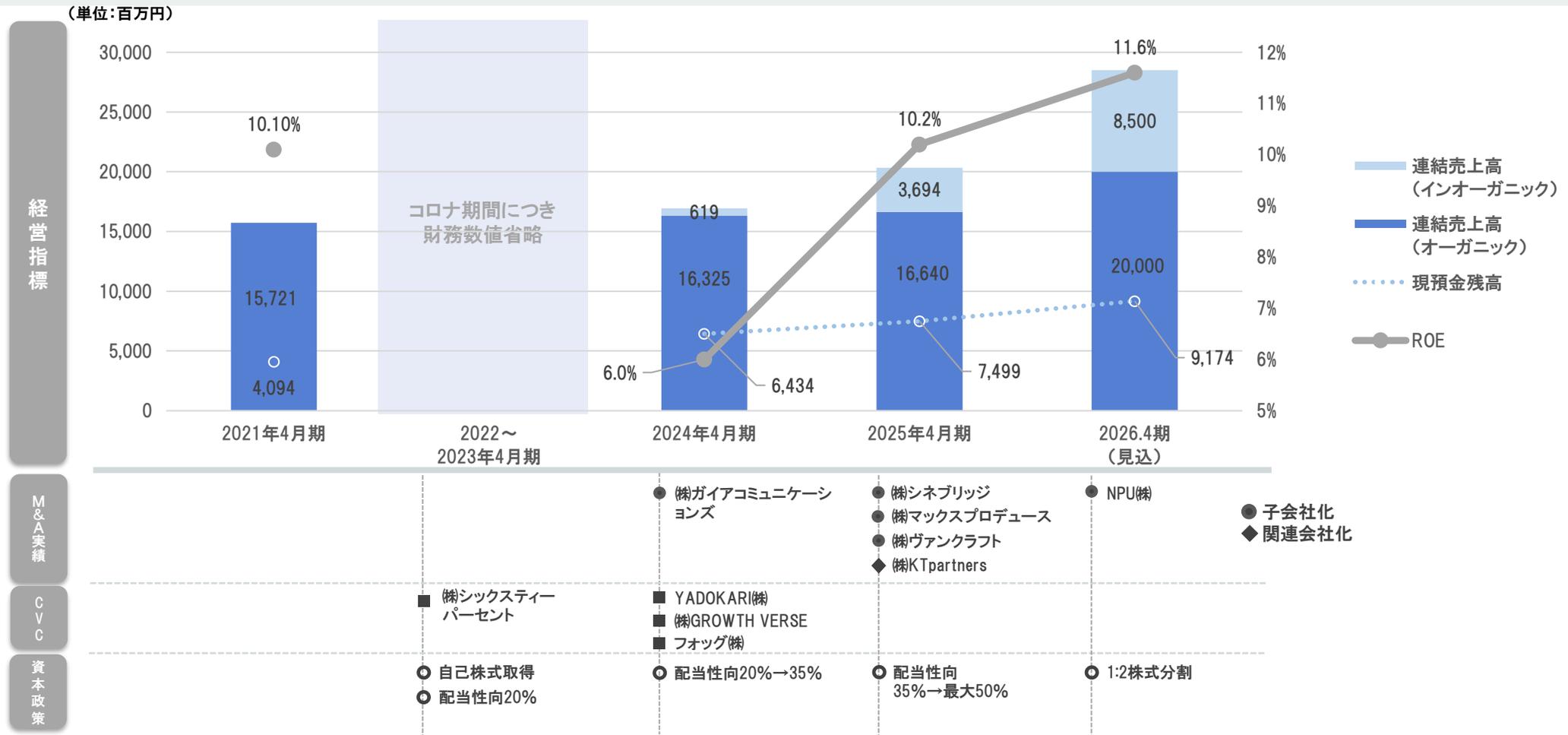
## 連結貸借対照表

- M&A戦略に基づく事業拡大を推進しつつ、盤石な財務健全性を維持
- 流動資産は現預金92億円と大幅増加。事業活性化と収益拡大により営業債務が2.2億円増加、未払法人税等の2.4億円増加等により、負債合計が7.9億円増加

(百万円)	2025年4月期	2026年4月期 1月末	増減
流動資産	11,861	13,182	1,320
現預金	7,499	9,174	1,675
固定資産	2,620	3,074	454
負債	5,453	6,250	797
純資産	9,028	10,005	977
自己資本比率	61.3%	58.2%	△3.3%
総資産	14,482	16,256	1,774

# 当社グループの戦略的投資の進捗状況(1/2)(ロールアップ)

- 当社グループの成長の要諦をなすロールアップ戦略を着実に遂行し、これまでに6社のM&A及び4社のCVC出資を実行。グループシナジーの発揮で、オーガニック及びインオーガニック共に大幅な業績拡大を実現し、ROEについても改善のトレンドが顕著。
- 他方で、M&A案件の慎重な選別により、手元資金は大幅に伸びており、今後に向けて更なるロールアップの推進が可能

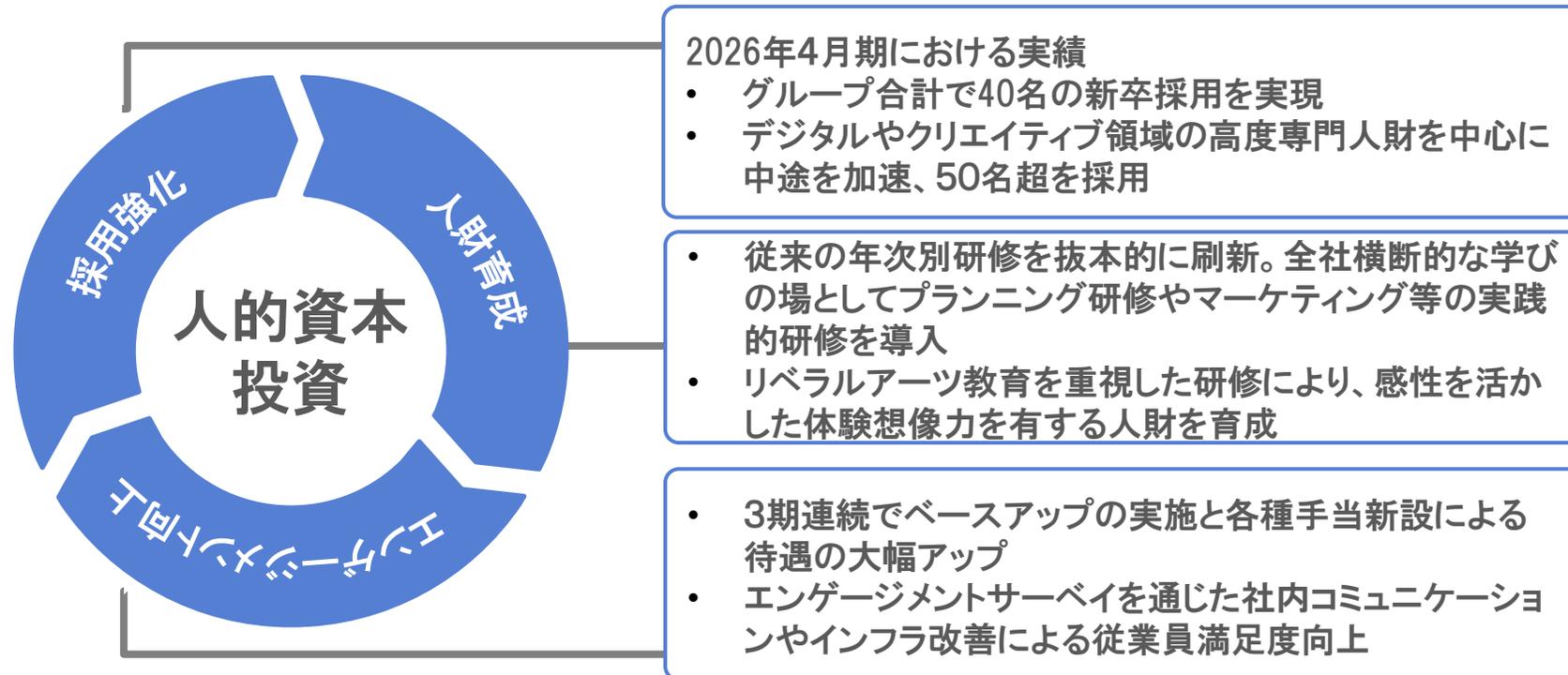


## 当社グループの戦略的投資の進捗状況(2/2)(人的資本投資)

- 当社グループの戦略的投資の中核をなす人的資本投資においても、採用・育成・エンゲージメント向上の各フェーズごとに精力的に投資実行。特に、採用に関しては、M&Aだけでなく新卒・中途採用に注力。

人的資本投資による成長サイクル

具体的な成果および施策



02

## 2026年4月期通期業績予想

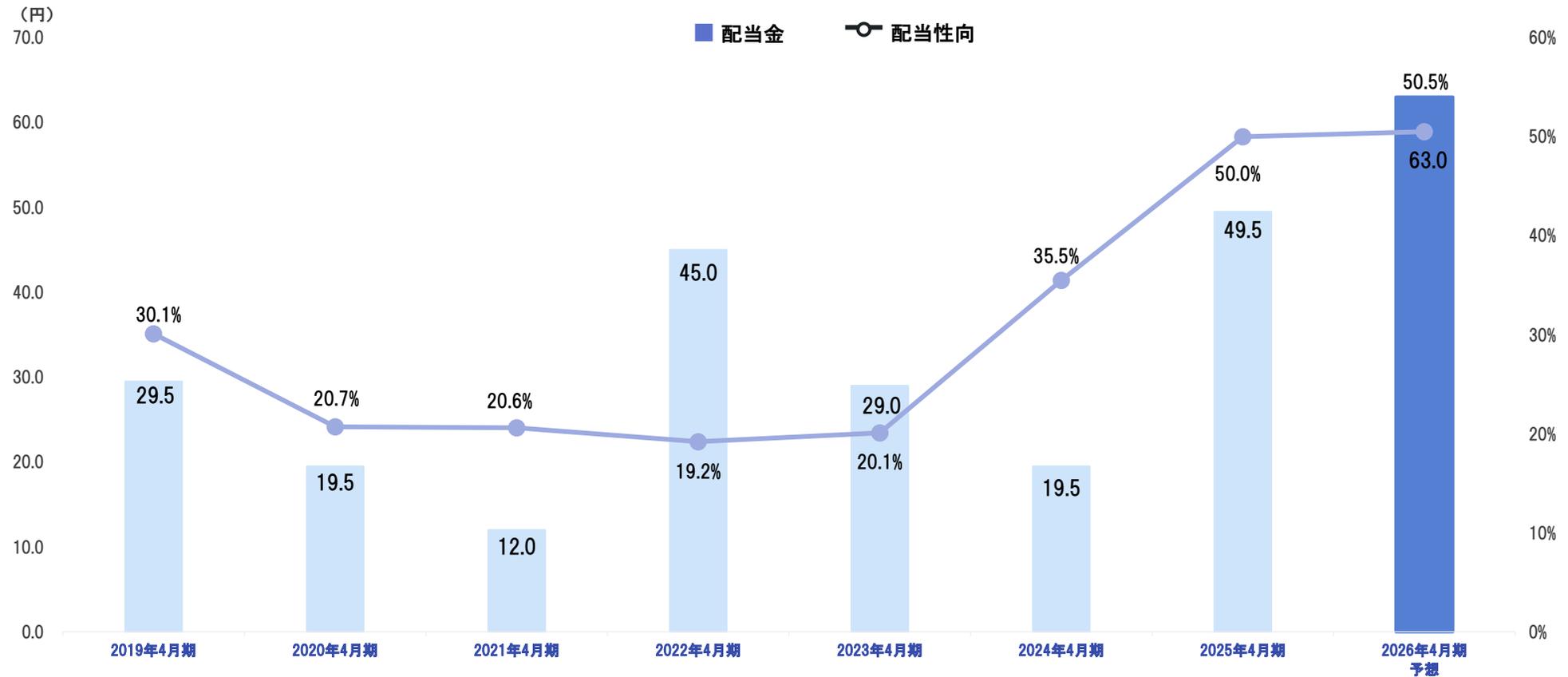
## 2026年4月期通期業績見通し

- 当第2四半期連結会計期間から連結子会社としたNPU株式会社の取得原価の資産及び負債への配分(PPA:Purchase price allocation)及びその償却につきましては、現時点では未定です。この状況から、通期連結業績予想は保守的な予想としており、2025年12月15日発表の業績予想を据え置くこととしました

(百万円)	2025年4月期 連結業績	2026年4月期 連結業績予想	増減額	増減率
売上高	20,335	28,500	8,165	40.1%
営業利益	1,277	1,800	523	40.9%
経常利益	1,267	1,820	553	43.6%
当期純利益	876	1,110	234	26.7%

## 配当予想

- 2026年4月期の配当は、1株あたり63円と過去最高を予想
- 株主還元を経営の最重要課題と位置づけ、業績連動型の柔軟な還元を実施
- 連結配当性向50.0%程度を基準に設定(大型M&A実施時を除く)



※2026年2月1日を効力発生日とした株式分割を考慮しています

## 受注・引合残高

- 受注・引合残高は増加傾向にあり、確度の高い案件の獲得も増加。官民間わないイベントやプロモーション、展示会等多数受注
- 「Lowの合計」は前年度比較でマイナスとなるものの、受注・引合残高は前年度比較で大幅な増加となっており、パイプラインの確度が向上

	2025年4月期	2026年4月期	
売上高(百万円)	(2025/1/31現在)	(2026/1/31現在)	差異
受注・引合残高 (受注+High+Midの合計)	4,386	5,096	710
Lowの合計	1,079	907	△172

※オーガニック3社(株)フロンティアインターナショナル、(株)フロンティアダイレクト、(株)イリアル)

※1会計期間にて集計しております

- 受注:金額、実施時期が決定している案件
- High:金額・実施時期に不確定要素のある案件(80%以上の確度)
- Mid:企画・提案案件のうち、受注する確度の高い案件(50%以上の確度)
- Low:企画・提案中の案件

03



**APPENDIX**

—— 私たちの未来

# OUR FUTURE

心の豊かさを分かち合える  
生きる喜びに満ちた世界の実現。

私たちが創る体験によって、世界を喜びと感動で満たし、  
幸福の総量が増えていくことが私たちの願いです。  
閉塞感がある現代において、物質的・機能的な充足だけではなく、  
精神的な充足や心が豊かであること、そして人生を前向きに進めていく生きることの  
喜びに溢れることが重要だと考えています。

—— 私たちの使命

# OUR MISSION

未体験を開拓し、  
すべての人の経験にする。

私たちが目指すものは、人の生きがいを創造し、人生を意義あるものとし、  
すべての人の人生に貢献していくことです。そのために私たちがすべきことは、  
自分自身・顧客・世の中に未知の体験を創り続けることにより、  
人の心を動かし、それを人の経験にし、人々の価値観を変え、行動を変え、  
やがて社会がより良い方向に大きく変えていくことです。

# 会社概要

会社名

株式会社フロンティアインターナショナル

所在地

東京都渋谷区渋谷3-3-5 NBF 渋谷イースト

代表取締役

河村康宏

事業内容

エクスペリエンスソリューション事業  
 ヒューマンソリューション事業  
 デジタル・テクノロジーソリューション事業

設立

1990年6月

資本金

429,766千円(資本準備金含む)

主要拠点

札幌、仙台、千葉、名古屋、大阪、広島、小倉、福岡

正社員数

464名(2025年4月時点)

グループ会社

株式会社フロンティアダイレクト  
 株式会社イリアル  
 株式会社ガイアコミュニケーションズ  
 株式会社シネブリッジ  
 株式会社マックスプロデュース  
 NPU株式会社  
 他、非連結子会社4社



2025年 デフリンピック開閉会式



AEP025バンダイナムコテクニカブース



サンタパレード



キャセイ航空 POPUP



ファミフェス



東京オートサロン Hyundai



お問い合わせ先



[info@frontier-i.co.jp](mailto:info@frontier-i.co.jp)

## ● 本資料に関する注意事項

- ・ 本資料は、情報提供のみを目的として作成しています。有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。
- ・ 本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点の情報に基づいて作成されています。将来予想に関する記述には、既知及び未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予想とは大きく異なる可能性があります。
- ・ これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内及び国際的な経済状況の変化や、当社グループが事業展開する業界の動向等が含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- ・ また、当社グループ以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。